

法政大学通信教育部校友会 会員 水谷千佳さん

金融庁および日本銀行から金融知識普及功績者表彰を受賞されました（お知らせ）

本年3月、法政大学通信教育部校友会の会員である水谷千佳さん（経済学部経済学科2018年度卒）は、各大学を中心とした金融教育に関する啓発活動による金融知識の普及・向上に貢献したことを金融庁および日本銀行から高く評価され、**2019年度金融知識普及功績者表彰**を受賞されました。表彰にあたっては、麻生太郎金融担当大臣および黒田東彦日本銀行総裁連名での賞状を授与されました。



そこで、扇野理事長から水谷さんに、この度の表彰やお仕事など、ご活躍についてインタビューしました。

—この度の表彰おめでとうございます。まず、水谷さんのお仕事と経歴についてご紹介ください

**水谷** バブル期に生命保険会社に勤務した経験から金融リテラシーの重要性を実感しました。28歳で退社後、消費生活関連資格を取得し、新潟から始まり、名古屋、山形、金沢、札幌、東京と全国各地を異動して、現在も消費生活センターや国民生活センターでトラブルの解決に向けた助言や斡旋を行っています。また、日本銀行に事務局を置く金融中央広報委員会の委嘱を受けて、長年啓発講座の講師を務めてきました。

—法政大学への入学のきっかけについて教えてください

**水谷** 金融広報委員会の依頼で、大学で金融リテラシーに関する授業のゲスト講師を務める機会が増えてきたため、経済知識をブラッシュアップすべく経済学部経済学科の通信課程に三年次編入しました。在学中、スクーリング授業などで触れた最新の大学教育や学生事情が、現在とても役立っています。

—今回の金融知識普及功績者表彰の受賞について、お気持ちを一言お願いします

**水谷** 金融トラブルは未然防止が一番大切です。そのため、小学生のおこづかいの適切な管理から高齢者の詐欺予防まで、講座などを通じ、金融教育を幅広く学ぶ機会を提供する一助を担ってきました。こうした草の根の活動が認められ、本年、金融庁と日本銀行から掲記の表彰を受賞することができたのは望外の喜びです。

—最後に、水谷さんの今後の抱負についてもお教えてください

**水谷** 民法改正による18歳成人年齢引き下げを1年半後に控え、大学生も成人対象となり、キャン

パスを舞台にした契約トラブルの増加が懸念されています。明治、青学、中央、学習院など多くの大学で講座を行ってまいりましたが、今後は、母校である法政大学の学生のトラブル撲滅にも尽力していきたいと願っています。

—水谷さんの今後の更なるご活躍を通友会一同、期待と応援の気持ちでいっぱいです。本日はありがとうございました。

法政大学通信教育部校友会

<https://hosei-tk.com/>